



成長する姿



校長 大森 富美雄

二つ橋にきてから三度目の年の瀬を迎えました。「3年も経てば何か成長したところがあるかな?」と、これまでの自分を振り返ってみたのですが、私自身にあまり変化は感じられませんでした。毎日ひとつずつ新しいことに挑戦するという昨年立てた目標は失わずにいるつもりなのですが、悲しいことに、新しいことを身に付けるのと同じペースでひとつずつ物事を忘れてしまっています。

さて、「成長」という視点で生徒を見てみると、感心すると同時にうらやましくなります。例えば、流通・サービスでの清掃作業では、1年生はダストクロスの使い方にぎこちなさが残るのに対し、3年生は軽い手さばきで見事にほこりを拭きとっていきます。そのスマートな動きから、清掃という仕事の「かっこよさ」を再認識させられます。



1人の生徒の3年間に焦点を絞ってみると、成長する姿をよりはっきりと感じることが出来ます。3年生のAさんは、1年生の情報基礎の授業で、ブラインドタッチ練習でのミスタッチが多かったのですが、今では表計算ソフトを自在に扱っています。

環境・園芸や人間福祉の授業でも全く同じことが言えるのですが、技術的な面が成長するということは、それだけ努力する時間を重ねてきたということです。この3年間の生徒の様子を見てみると、働く技術が身に付くと同時に、人間的にも成長していく様子がよくわかります。それは、自信であり、寛容さであり、謙虚さでもあり……。いま、私は、生徒の成長を見ることによって、「自分自身も成長しなければ!」というモチベーションを保つことができています。本当にありがたいことです。

3年生は、あと数か月で卒業して就職します。卒業生が社会に出て働く姿を見て、在校生や教職員が「もっと成長しよう!」というモチベーションを高められればと思っています。

今年も一年間たいへんお世話になりました。皆様、よいお年をお迎えください。



スクールライフ



○1年生

現場実習を終え、登校してきた生徒に「久しぶりに学校に来る気持ちはどうですか？」と聞くようにしていました。「友達に会えるのが楽しみでした。」という生徒が多い中「今週も実習に行きたかった。」と答える生徒も結構多く、少し意外な気持ちがしました。きっと仕事を覚えたり、実習先の方との人間関係ができたりしていくうちに、実習前の不安感が「自分にもできた」という達成感に変化していったのだらうと思います。実習中に成長できた姿を学校生活でもたくさん表現してほしいと思っています。

保護者の皆様におかれましても今回の実習期間、毎朝職場へ向かうお子さんの姿やもてる力を発揮しながら仕事に対応していくお子さんの姿に、感じるどころも大きかったのではないかと思います。お子さんの健康管理に加え、日誌の記入、反省会と多くのご協力をいただきありがとうございました。

○2年生

まだ全員が終わっていませんが、就労体験実習が行われました。面接や反省会など、保護者の皆様のご協力ありがとうございました。実習期間中は3クラス、もしくは4クラスの特別編成となり授業を行いました。この就労体験実習で、自分の新たな課題が見つかった生徒も多かったかと思えます。これから、この実習での課題を克服して、次の実習に自信をもって取り組んでいけるように支援していきます。

また、学習発表会の準備が少しずつ始まっています。学年の職員と生徒が、ともに楽しめるような発表になるといいな、と思っています。お楽しみに！

○3年生



3年後期の現場実習は雇用していただけるか否かの試験実習であるため、実際の勤務のように『休日出勤』等がある生徒もいました。これまでとは違って特に緊張することの多い実習だったと思います。

実習から戻ってきた生徒は、またひとまわり逞しくなっていました。これまでの学習や実習をがんばってきた証だと思います。進路先決定までの状況はそれぞれ異なりますが、みんなの努力が実を結ぶのはもうすぐです。その日が待ち遠しく思っています。

2月の卒業遠足は、生徒からのアンケートを参考に「東京ディズニーランド」に決まりました。

○保健室から

10月1日(木)に学校保健委員会を行いました。保健安全委員会のメンバーを中心に「生活のようす」について考えました。アンケート結果をもとに、生活習慣と健康について考えたり、食事バランスを整えるためにできる小さな工夫等を話し合いました。今回の内容は、2月の学習発表会で報告し、全校で考える機会にしたいと思っています。

○「横浜市立二つ橋高等特別支援学校 Web サイト」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/futatsubashikoto/>

